



国土交通省

能登半島地震の復旧に予備費使用を閣議決定
災害復旧へ総額713億円

9月10日、令和6年能登半島地震の災害復旧等に713億円
の予備費を使用することが閣議決定されました。

それによると、国道249号等の大規模被災箇所の通行確保
等に係る道路災害復旧に295億円、被災3県の道路、河川、海
岸、上下水道の早期復旧に166億円、七尾港や金沢港をはじめ
とした港湾施設等の損傷箇所に係る災害復旧に105億円、珠
洲市、輪島市の地すべり発生箇所や、輪島市の河道閉塞箇所へ
の土砂災害緊急対策に124億円が計上されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000276.html



国土交通省・厚生労働省

建設業人材確保・育成の概算要求
地域の住宅生産事業者等への支援事業を創設

9月2日、国土交通省と厚生労働省は、令和7年度予算概算要
求で掲げた、建設業の人材確保・育成に向けた取組を公表しま
した。

それによると、国土交通省は、新たに災害に対する対応力向
上を目的とした安定的な住宅生産・維持管理事業に300億円
を計上しました。これは地域の特色ある質の高い住宅整備によ
る、技能維持・継承、担い手確保・育成等、地域の住宅生産事
業者等に対し支援するものです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00233.html



厚生労働省

民間主要企業の夏季一時金妥結状況を公表
平均妥結額は 898,754円で過去最高

9月13日、厚生労働省は、民間主要企業の夏季一時金妥結状
況を公表しました。集計対象は、資本金10億円以上かつ従業員
1,000人以上で労働組合のある企業326社です。

それによると、労働組合からの平均要求額937,922円に対
し、平均妥結額は898,754円(前年度比6.2%増)と過去最高
の金額になりました。また産業別に見ると、建設29社の妥結額
は1,007,331円(同2.2%増)で、自動車の1,038,777円に次
いで高い金額となっています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_43424.html



建設業振興基金

CCUS技能者スマホアプリ
「建キャリア」登場

9月4日、建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム
(CCUS)の登録技能者向けスマートフォンアプリ「建キャリア」を
11月29日にリリースすることを発表しました。

CCUSに登録している基本情報や就業履歴を技能者本人が
容易に確認でき、登録している資格者証などをいつでも画面表
示できます。また、能力評価のサポートや建退共掛金納付状況、
CCUS応援団の特典なども確認可能です。ダウンロードは無料
で、iPhoneやAndroidスマホでも利用できます。

<https://www.ccus.jp/attachments/show/ken-kyarii>



外国人技能実習機構

帰国後技能実習生フォローアップ調査結果
帰国後も建設関係の仕事は半数にとどまる

9月2日、外国人技能実習機構は、技能実習生7,936人を対
象に、帰国後の実態把握を目的として2023年度に実施した
フォローアップ調査の結果を公表しました。

それによると、帰国後の仕事内容が実習と同じまたは同種の
仕事である割合は全体で65.1%でしたが、建設業では50.0%
に留まりました。また、帰国後の就職状況では、「技能実習3号で
戻る」「特定技能として日本に戻る」とする割合が全体で30.5%
と増加傾向にあり、建設業でも34.2%となっています。

https://www.otit.go.jp/research_chousa_r5/



帝国データバンク

2024年8月の景気動向調査結果を公表
建設業の景気DIは3カ月連続で上昇

9月4日、帝国データバンクは、景気動向調査(2024年8月調
査)の結果を公表しました。

それによると、建設業の景気DI(50を境としてそれより上
であれば「良い」、下であれば「悪い」を意味する)は、47.3(前月
比0.4上昇)と3カ月連続の上昇となりました。また、景況感につ
いて、「猛暑にともなうエアコン関連需要が増加している」、「イ
ンバウンド需要でホテルの設備更新意欲が旺盛となっている」
などのコメントが挙がっています。

<https://www.tdb.co.jp/report/economic/ets202408/>

